

性に関する指導の状況

保健体育課

1 教科「保健」での取り扱い

＜高等学校＞

【高等学校学習指導要領（平成30年3月）保健体育 抜粋】

<p>2 内容</p> <p>(1) 現代社会と健康 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(イ) 現代の感染症とその予防 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。</p> <p>(3) 生涯を通じる健康 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(ア) 生涯の各段階における健康 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</p>
--

【高等学校学習指導要領解説 保健体育編（平成30年7月） 抜粋】

<p>(1) 現代社会と健康</p> <p>(イ) 現代の感染症とその予防 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。</p> <p>また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。</p> <p>(3) 生涯を通じる健康</p> <p>(ア) 生涯の各段階における健康</p> <p>㊦ 思春期と健康 思春期における心身の発達や性的成熟の伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。</p> <p>㊧ 結婚生活と健康 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、健康生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。</p>
--

2 府立学校（高等学校・特別支援学校）の教科「保健」の男女共習状況（学舎・課程別72校）

年度	男女共習	一部で男女共習	男女別習	その他
令和5年度	50校	5校	12校	5校

3 特別活動（講演会など）での取り扱い

<高等学校>

【高等学校学習指導要領（平成30年3月）特別活動 抜粋】

第5章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔ホームルーム活動〕

2 内容

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

【高等学校学習指導要領解説 特別活動編（平成30年7月） 抜粋】

イ 男女相互作用の理解と協力

高校生の時期は、身体的にほぼ成熟し、男女それぞれの性的な特徴が明確になってくる。それについて、異性への関心も高まり、異性との交友を望むようになり、意識する異性の対象がかなり特定化される傾向も強まってくる。(略)・・・具体的には男女相互の理解と協力、人間の尊重と男女の平等、男女共同参画社会と自分の生き方などの題材を設定し、アンケートやインタビューを基にしたり、新聞やテレビ等の資料を参考にしたりして、話し合うなど活動の工夫を行うことが考えられる。

なお、「男女相互の理解と協力」については、性に関する指導との関連を図ることが大切である。性に関する指導については、青少年の性意識の変化、性モラルの低下などが指摘されていることを十分に考慮し、特別活動全体を通して行う人間としての在り方生き方に関する指導との関連を重視するとともに、特に、保健体育科の「保健」との関連を図り、心身の発育・発達における個人差にも留意して、生徒の実態に基づいた指導を行うことが大切である。

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

(略)・・・また、性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるように指導することも大切であり、性的情報の氾濫する現代社会において、自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互のよりよい人間関係の在り方などと結び付けて指導していくことが重要である。

(略)・・・内容によっては、養護教諭や関係団体などの協力を得ながら指導することも大切である。

4 府立学校（高等学校・特別支援学校）における、教科「保健」や「特別活動（講演会など）」への外部講師活用状況（学舎・課程別72校）

年度	校数・件数	外部講師
令和4年度	47校・70件	産婦人科医・助産師（31校・31件）、 大学関係者、レディースクリニック、保健センター、 男女共同参画センター、少年サポートセンター、 性暴力被害者ワンストップ相談支援センター、他

5 性に関する指導の留意点（「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引：文部科学省）

- ① 生徒の発達の段階をふまえること
- ② 学校全体で共通理解を図ること
- ③ 家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること
- ④ 集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと